

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年8月13日
タイトル	地域に親しまれる農業用水路「蓮池川」！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年7月18日（土）福山市立西深津小学校で西深津学区まちづくり推進委員会主催の「子ども土曜クラブ」で出前授業をしました。

西深津小学校の理科教室で、小学生やPTAの保護者、西深津学区のまちづくり推進委員会・町内会連合会など地元の住民の方が約50人集まり環境学習をされました。

西深津学区は、西深津学区まちづくり推進委員会が主催で毎月「子ども土曜クラブ」を実施しておられ、学区内にある蔵王山や校舎の目の前を流れている蓮池川（蓮池幹線用水路）といった故郷の自然と子ども達がふれあったり、地域住民と交流することで子ども達が地域に興味を持ち、有意義な時を過ごすことができる取組みをしておられます。

7月18日は「蓮池川自然体験」として蓮池川（蓮池幹線用水路）へ船を浮かべて、子ども達が船上体験をする予定でしたが、前日までの台風11号の影響で蓮池川の水位が高いことから安全のため船上体験は中止となり、理科教室で環境学習のみ実施されました。



1つのテーブルに大人と子どもが一緒に座って環境学習をしました。

校長先生から「台風で終業式が1日早くなりましたが、今日からが本当の夏休みです。」と挨拶がありました。

まず、水土里ネット福山から「七社頭首工用水について」と「転落防止」について出前授業をしました。

いつもみんなが見ている蓮池川は、実は農業用水路であること、「七社頭首工」という施設で芦田川から取水していることを話しました。

また、農業者はきれいな水で農作物を生産したいので、除塵機でゴミを取っていることなど施設の管理や転落防止の呼びかけをしました。

転落防止の呼びかけの中では、今日はいいい天気で見、船上体験をしても問題ないようですが、台風の後には水量が多く危険なことから、中止されたのは賢明な判断と思うことを伝え、雨の日はもとより、翌日も十分気を付けるよう話しました。

「蓮池川の水はどこから流れてきていると思いますか。」と聞いたら、小さな男の子が元気一杯に「海！」と答え、教室が笑いに包まれて和やかになりました。

「日本全国の用水路の長さは地球10周分あるそうです。」と言うと「ええっ！」とびっくりしていました。



続いて、福山市の環境啓発課の宇田卓弥技術員から環境汚染を啓発するビデオの上映があり、その後、水質検査（パックテスト）をしました。パックテストは、4種類の水の水質を調べるもので蓮池川の水、水道水にしょうゆ、オレンジジュース、砂糖をとかしたものです。

子ども達は、それぞれの水がきれいかどうか予想をたてて、それからパックテストをして調べました。



みんな真剣に聞いています！



う～ん、どの水がきれいなのかな！

蓮池川の水は、実験する直前にバケツで汲んでこられたもので、台風の影響で少し濁っていました。子ども達は、「すごくきたない」とか「きたない」と予想していましたが、実験結果は、どのテーブルも「ややきれい」という結果になりました。

しょうゆやオレンジジュース、砂糖をとかしたものは、実験結果が「よごれている」や「きたない」になり、台風で濁っている蓮池の水の方がきれいだということがわかりました。

この結果に子ども達はびっくりしました。「ジュースや味噌汁など残して川に流してしまうと水質が悪化するので捨てないよう工夫するようにしましょう。」と話されました。



実験！上手にできるかな！



水の色がどんどん変わっていくよ！

最後に、山岡町内会連合会長から「先ほどの実験で蓮池川の水がきれいなことがわかりました。地域の住民が約20年前から力を合わせて清掃してきたからだと思います。これからもゴミを捨てたりしないようにしましょう。」と挨拶されました。

翌日の19日（日）は、山岡町内会連合会長が話しておられた蓮池川清掃の日とお聞きしたので、取材をしました。

西深津学区の町内会有志の方々に、5月から11月の第3日曜日の午前7時から8時に蓮池川周辺を清掃しておられ、道路や側溝の清掃や草むしり、景観のために植えた樹木の剪定、また、蓮池川に船を浮かべて護岸の草を取ったり、水路に浮かぶゴミを取っておられるそうです。

19日は、あいにく台風の影響で水位が高く、橋の下が低くて危険なため、船を浮かべて清掃はされませんでした。町内会の方が約30人集まり側溝のゴミや草むしりなど約1時間汗を流して作業しておられました。



蓮池川の水面に映る西深津小学校。地域の方に見守られています！

今回の出前授業では、農業用水の蓮池幹線水路が「蓮池川」として、西深津町内会の方々に親しまれている事が印象に残りました。

水土里ネット福山は、これからも農業用水路や農業施設の適正管理や利水調整に務めることはもとより、農家の方のみならず、子ども達をはじめ、地域住民の方にも広く、農業用水の役割や施設の管理の重要性を理解していただくよう、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでいきたいと思ひます。